

# 山科区と宇治市をめぐる 府市一体型の観光開発プロジェクト

京都外国語大学 国際貢献学部 グローバル観光学科教授 藤本茂

研究内容:山科区と宇治市をめぐる府市一体型の観光開発プロジェクト

活動地域:京都府山科区、宇治市、京都外国語大学内

## はじめに (山科区と宇治市ってどんなところ?)

山科区は京都駅からJRで5分程とアクセスがよく、観光にも便利なエリアだ。寺院や伝統産業、飲食店が立ち並び、商店街などがある。 宇治市は主要な観光地へのアクセスは良く、JR奈良線と京阪宇治駅からアクセス可能。宇治茶やニンテンドーミュージアムなどの観光地が 有名。

私たちは山科区と宇治市の持続的な観光と、一極集中している京都府の観光形態を変える1つの案として、観光開発及び観光プランを提案 する。

### 山科区と宇治市の観光課題

①山科商店会の元会長さん、現会長さんの話

地域に人を呼ぶことで地域を盛り上げたい 人々に喜んでもらいたい

山科の商店街への観光客の呼び込みの定常化が厳しい。

(2)和だいにんぐ千さんのお店の方の話

地域の人がお客さんが大半。 2029年の山科駅の開発によるインバウンド客増加の期待

→狭い道により危険を伴う。また、お店の駐車場には1~2台 程しか置けない。

### 町の様子

- ・フィールドワーク当日、人通りや観光客 は少ない。
- ・飲食店の店内は混み合っている状況。
- タクシーを利用する観光客が少ない ことも分かった。







③お茶と宇治のまち茶づなの館長さんの話

まだまだ観光客を呼び込みたい 茶づなマルシェも人が来ないせいで、商売にならない ケースがある

- →主要な観光地への一極集中が起きている。 JR宇治駅周辺に比べて観光客は少ない。
- →日帰り観光が多く、長時間滞在ではない。 また、宇治市内で宿泊する人が少ない。

台市内での宿泊有無

※宇治市来訪者ベース



	(N)		宇治市内宿泊し		京都市内に宿泊した	以外	市・京都市 の地域に 音泊した	活:口はしてし	
È体	431		16.5		42.5		6.5	34.6	
		0%		20%	40%	6	0%	80%	100%

	全体	はじめて(1回目)	2	3 🛛 🖽	<b>4</b> 回 目	5回以上
上段:実数 下段:%						
	1014	411	234	109	37	223
	100.0	40.5	23.1	10.7	3.6	22.0
代以下	93	55	19	6	2	11
	100.0	59.1	20.4	6.5	2.2	11.8
代	242	126	52	22	9	33
	100.0	52.1	21.5	9.1	3.7	13.6

→来訪回数に関して 10代、20代の2回目以降も来訪が少な く、若者の宇治への関心度が他の世代 よりも低い。

os://www.city.uji.kyoto.jp/uploaded/attachment/35812.pdf)



「山科区~宇治市をつなぐ1泊2日ツアー」の提案 山科区に人を呼び込み、宇治に滞在してもらえるツアー

ターゲット:インバウンド&大学生 季節:春or秋がおすすめ!!

★JR山科駅下車

↓徒歩5分↓

★南西エリアで食探し!

パンケーキが映えるカフェ(**♥**ライオンカ**クェ**) お箸で食べるパスタ(プ日本styleパスタ&甘味ゆる音家) 柔らかくてジューシーなかつ(▼熟成豚かわむら)

↓タクシー14分↓

★随心院 極彩色梅匂小町絵図の壮大さに心奪われる 「とっておき京都プロジェクト」の1つ 「山科随心院花の間」は2月~3月春におすすめ!

↓徒歩2分↓

★小野駅→六地蔵→京阪六地蔵→京阪宇治駅下車

山科と宇治のスポットを巡るとオリジナルキャラクタ

「えぐぷぅ」&「おうじちゃま」LINEスタンプゲット! 更に次回から使用可能の10%OFFチケット配布!









★京阪宇治駅 ↓徒歩18分↓



「NEKED GARDEN ONE KYOTO」主催の紅葉 ライトアップは必見!or 大吉山からの景色一望!

★花やしき浮舟園(3万円以上) or 宇治壱番宿(2万円以上)

### Day2

★お茶と宇治のまち交流館 茶づな 唯一お茶を五感で感じられるミュージアム! 石臼から挽くお抹茶は絶品!

↓徒歩14分↓

★宇治橋通商店街

京野菜ネギたっぷり京鴨バーガー(『京鴨kitchen善)

↓徒歩10分↓

橘島にて京鴨バーガーを食す! Finish this tour!!

# 今後の課題

- スタンプ作成や10%OFFチケットの配布には観光事業者の協力が必要。 ライトアップのイベントなどはイベント会社とのタイアップが必要。
- 山科駅の開発によるインバウンドの対応(表示や接客ets.)
- オーバーツーリズムの懸念
- 集客を狙うためには営業時間を延ばす必要があるのではないか。

### 感想

- 観光コースの確立はスムーズな観光に繋がり、より一層楽しむ ことができると思った。
- 人を呼び込みたいという思いに応えてくれる地域や事業者が いないことには観光事業を行っていくことは難しく、横の繋がり や業種を超えた新たな繋がりによって観光開発ができると思った。

